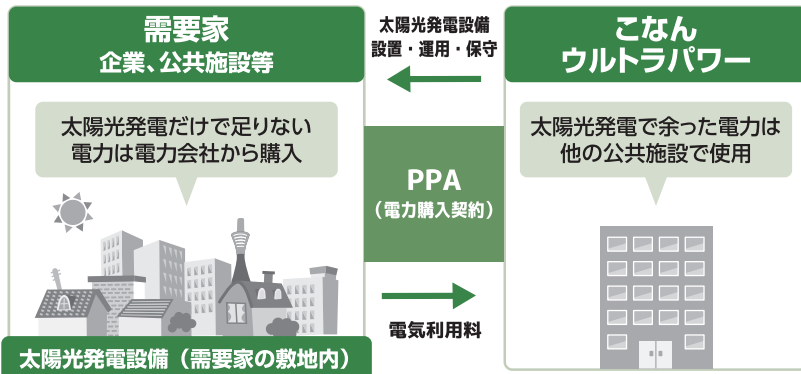


自然エネルギーで地域を元気に!

こなんウルトラパワーは湖南省と湖南省商工会、市内民間企業が中心となって平成28年5月に設立した地域に根差した電力会社です。



市内事業所の皆さんへ

こなんウルトラパワーでは、国が発表している「地域脱炭素ロードマップ」で重点対策として掲げている自家消費型太陽光発電設備の導入を促進すべく、PPA事業のご提案をしています。基本的に初期投資はゼロで、電気料金とCO₂排出の削減等が期待できます。ぜひ相談ください。



電話での問い合わせは
☎0800・800・5084
午前9時～午後6時(土曜・日曜日・祝日を除く)

<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

コナン市民共同発電所 6月の発電結果

初号機 発電量: **2,299kWh**
バンバン発電所 売電額: **101,156円**
設備容量 20.8kW

一般家庭 約8軒分

貳号機 発電量: **12,556kWh**
甲陸発電所 売電額: **552,464円**
設備容量 105.6kW

一般家庭 約42軒分

参号機 発電量: **1,734kWh**
十二坊温泉 売電額: **61,036円**
ゆらら発電所 設備容量 16.3kW

一般家庭 約6軒分

四号機 発電量: **3,416kWh**
柑子袋まちづくり 売電額: **120,243円**
センター発電所 設備容量 23.6kW

一般家庭 約11軒分

※ 1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

すすめ! みんなのSDGs



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

湖南省は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

認知症になっても自分らしく暮らすために

認知症とは、なんらかの原因によって脳に障がいがおこり、認知機能(記憶力や判断力など)が低下して、生活をする上で支障をきたしている状態のことを言います。団塊の世代が75歳以上となる令和7年には認知症の人の数は全国で約700万人、65歳以上高齢者の約5人に1人に達すると見込まれています。

みなさんは認知症になると「何もできなくなる」「何もわからなくなる」といったイメージはありませんか? 認知症になっても、できること、わかることはたくさんあります。厚生労働省では、認知症の人が自分らしく前向きに生きる姿を発信するために、認知症の人を「希望大使」に任命しています。

市でも令和4年3月に「認知症になっても住み慣れ

た地域の中で尊厳が守られ、自分らしく暮らし続けることができるまちの実現」をめざして「湖南省認知症施策アクションプラン」を策定しました。認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためには、周りの人が正しく理解することが必要です。認知症は誰にでもなる可能性があります。もし自分が認知症だとしたらどんなまちに住みたいか、ぜひ自分ごととして考えてみてください。「認知症になっても湖南省なら大丈夫」といえるまちづくりをしていきましょう。

●12ページに関連記事を掲載しています。あわせてご覧ください。

今月は高齢福祉課が担当しました。

問高齢福祉課(保健センター) ☎71・4652 ☎72・1481